

太平洋工業(株)

大垣市・自動車部品、電子機器製造業

従業員数 / 男性2,145名 女性211名 計2,356名 ※令和7年11月現在

エクセレント
POINT

- ①効果的な周知で男性の育児休暇取得者が大幅増加
- ②私生活を支える充実した各種休暇制度を整備
- ③DX化による生産性向上と業務改善活動を継続

製造業



制度の周知と取得しやすい環境づくりに注力した結果、会社全体の意識変化が進み、男性の育児休暇取得者が大幅に増加した。

仕事と充実した私生活との両立を支援

太平洋工業では、男性の育児休暇取得の促進に取り組んでいる。制度の周知には、問い合わせが多い内容も織り込んだ「男性用育児休業ハンドブック」を作成し、イントラ上に公開。配偶者の出産の届出をした対象者には、育児の取得案内を行うほか、年2回の評価面談時に取得予定を聞き、職制共有できるように運用している。また、社内報などで取得事例を紹介し、取得のしやすさを周知している。加えて所得の減少への懸念を緩和するため、育児に積立有給分を充当できる制度を整備。管理・監督職への昇格時教育でも継続的に各制度

の周知と理解に取り組んだ結果、2018年3人、19年1人だった取得者が22年には39人と大幅に増加。24年度の取得率は男性75%、女性100%と、男女ともに取得しやすい風土が根付いた。

私生活を支えるための各種休暇制度の充実にも努めており、配偶者出産休暇は特別有給休暇として2日間付与。21年からは半日単位での取得も可能となった。また、子育てや介護などに従事する社員からの要望に応え、年20回までだった半日有給休暇の取得制限を24年度より撤廃。家庭の事情に合わせて、回数や日にちを気にせず取得できるようになった。さらに同年度に設けた月8時間の不妊治療休暇も複数名が取得している。

働きやすさ向上にむけては、あらゆるプロセスのデジタル化や自動化を推進。IoT技術やAI、WEBシステムなど、部門ごとに適したデジタル技術を多岐にわたって導入。

社員主導の「仕事のやり方改善」活動を各事業本部毎に継続して行っており、事技職から役員に毎月報告する機会を設けている。役員からのアドバイスや激励を受けるとともに、他事例を共有することとで、当該活動を継続的かつ発展的に実施。各社員のプレゼン力向上にもつながっている。

リードタイムが短縮され、生産性アップにもつながった。

社員一人一人が業務改善の活動内容を毎月、役員に報告。報告件数は年間1500件以上に上る。



社員一人一人が業務改善の活動内容を毎月、役員に報告。報告件数は年間1500件以上に上る。